



いたびつ 板櫃 <校訓> 真理の探究 自主躍進

令和6年4月23日(火)発行
校長 栗原博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

- <学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
- <目指す生徒像>
- ① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
 - ② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
 - ③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
 - ④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

「思いやり」って何だろう？～学級の立ち上がりに～



生の試合(コンクール)は、技術の問題ではなく、気持ちの問題も大きいです。競り合ったときに勝敗を分けるのは、あきらめないねばり強さ、集中力、一瞬のひらめきです。そしてこれらは、すべて普段の練習態度や、生活態度の差だと思のです。



どんな競技でもある程度の技術は練習をしていれば身に付きます。しかし、試合になったときに「勝つ」には技術だけでは絶対にダメなのです。

練習ではうまくできていたことが試合ではできない。するとそこであきらめてしまう。結果は見えています。うまくいかないなりに、ねばり強く工夫してあきらめないという強い精神力(気持ち・心)が必要です。普段の練習のあいさつ、心構え、きびきびとした態度からそういった精神力は身に付きます。そして、強い精神力を身に付けるためには、厳しさを乗り越えて達成したいという目標が必要です。目標のない練習からは得るものがありません。

みなさんはそういった厳しさには直面したことがあるでしょうか。部活動や習い事で何かを得たいと思ったらまず、自分で自分を厳しい環境に追い込み、練習の中で精神力(気持ち・心)を鍛えてください。苦しいけどやりがいのある何かがあります。

思いが伝わる学級目標をつくろう!



さあ、学級目標をつくろう!!といきなり言っても、「さて、何にしようかな」では困りますね。みなさんは、小学校時代から「目標」をつくってきたのではないのでしょうか。学級目標、班目標、生活目標・・・目標が多い学校生活ですね。

みなさんにとって「学級目標」というものは何なのでしょう。16日(水)にサッカーU-23日本代表の中国との試合がありました。オリンピック代表候補のメンバーで試合に臨みました。サッカーは個人のカリカだけでは決して勝てません。チームの組織力が重要になります。そのための細かい決まり事や、役割分担というのがきちんと決まっています。そこでチームが目指すサッカーのスタイルというのができてくるのです。つまり、「勝利」という結果を導くために、「どんなサッカー」を目指すという目標が必要になるのです。

これは、みなさんの学級での生活にもあてはまります。学級はいわば一つのチームです。勉強を頑張る、学級活動を頑張る、体育大会で勝利を目指す、合唱コンクールで優勝したい、修学旅行を成功させる・・・これらを実現するためには学級がまとまらなければなりません。

みなさん一人一人の、「こんな学級にしたい」という願い。これが大切なのです。そして、その「こんな学級」を実現させる方法が学級目標となるのです。例えば、「明るいクラス」これは学級目標ではありません。「明るいクラス」にするためには「みんなが思いやりの心をもつ」必要があります。この部分が学級目標になるのです。

みなさんは自分の学級で何を目指しますか。学級でどんな思い出を作りたいですか。その願いを基にすばらしい学級目標を創り上げましょう!

●学級目標をつくるために

- ① どんな学級にしたいか、という全員の願いをはっきりさせる。
- ② その願いを学級目標にするには、
 - ・覚えやすい、親しみやすい、言葉で言いやすい。
 - ・みんなが堂々と自分のクラスの目指す姿だと誇れるもの。
 - ・マイナス志向ではなくプラス志向で。
 - ・かんたんにできることではつまらない。



などを参考にしてください。(すでに決まっている学級も参考にしてください)

ストレスを解消する。家庭でも社会でも、自分の存在って相手あってのものです。重松清(小説家)

今の自分を越える、明日の自分を越える



先生は30数年間部活動を指導していましたが、夏の大会や新人大会では、どの会場でも熱気いっぱいの試合が繰り広げられました。先生はバドミントン部顧問でしたので、いつも板櫃中会場でした。さて、試合(文化部はコンクール)を見て感じたことをいくつか書きます。いつも思うことですが、中学